

平成 28 年度第 4 回生物多様性セミナー  
「野生動物への餌付け問題について」  
～身近な自然について考える～

○お腹を空かせている野生動物（ハト、カラス、リス、キツネなど）に餌を与えたい気持ちは、ごく自然なことであり、その優しさはとても大切なことです。

○しかし、餌を与えることによって、集まった動物の鳴き声、羽音、糞尿、庭荒らし等で近隣の人々が迷惑することになったり、かえってその動物が地域社会の嫌われ者になってしまったり、与えられる餌に依存してしまい野生を失っていくなど、地域住民や動物そのものにとって良くないことがたくさんあります。

○そこで本セミナーでは「野生動物の保護」と「動物愛護」の違いを通じて、「野生動物との接し方」について学び、人と野生動物の望ましい関係について考えていきます。

【日時】 平成 29 年 2 月 11 日（土）

13:00～15:00

【会場】 旭川市民文化会館 第 2 会議室

（旭川市 7 条通 9 丁目）

【内容】

（1） 永山新川における「生きもの思いやり線」の事例紹介等

講師：佐藤 伸高 氏（旭川市旭山動物園獣医師、人と野生生物の関わりを考える会）

（2） 神楽岡公園における餌付け問題について

講師：南 尚貴 氏（旭川市愛宕公民館長）

【参加費】 無料



主 催：旭川市、旭川市生物多様性保全推進協議会

申込先：旭川市 環境政策課 環境保全係

TEL：0166-25-5350

Email：[kankyoseisaku@city.asahikawa.hokkaido.jp](mailto:kankyoseisaku@city.asahikawa.hokkaido.jp)

※この事業は、サマーチャンポ宝くじの収益金を活用して実施しています

